



拳煌塾 試合ルール【ライトコンタクト】

2014年3月10日

1. 試合形式

トーナメント(勝ち抜き)戦とする。但し、3人以下の場合は総当たり戦。

2. 試合時間

本戦1分30秒(敗者復活戦は45秒)、延長戦は45秒。

3. ポイント

審判の判断により以下のポイントが与えられる。

有効	有効な打撃 ・相手が攻撃に対しノーガードの時、 又は同じ技が繰り返し当たった時
技あり (有効3ポイント)	ダメージの認められる打撃
一本 (技あり2ポイント 有効6ポイント)	深刻(ダウンを伴う・うすくまる等)な ダメージの認められる打撃 ・本人に続行の意思があっても審判が 危険と判断した場合

3審判員制(決勝戦は5審判員制)で「一本」「技あり」「有効」「反則」等全ての判定に2人(決勝戦は3人)以上の支持がある事。

4. 反則・禁止項目

以下の行為により、『注意1(相手に有効1ポイント)』が与えられます。

- ①手技・肘による顔面への攻撃
- ②攻撃禁止部位(金的・関節・背後)への攻撃
- ③頭突き
- ④倒れている相手への攻撃
- ⑤寝た状態からの攻撃
- ⑥相手を掴む行為
- ⑦投げ技
- ⑧主審が制止(止め)した後の攻撃
- ⑨選手又はそれ以外の方が相手や審判員に暴言
- ⑩以上の他に審判判断により、悪質な態度や不適切な行為と見なした場合

5. 勝敗

一本勝ち、優勢勝ち、判定勝ちに分けられる。

一本勝ち	一本(技あり2本以外、友好6本以外)先取
優勢勝ち	取得ポイントが相手より上回っているとき
判定勝ち	審判による旗判定 ①相手に対して(1)技の適格性、(2)手数、 (3)打撃のダメージの順で裁定 ②「引き分け」の場合は、体重が軽い方の 選手が優位となる

注) 試合結果及び審判の判定には如何なるクレームも受け付けません。

6. 延長戦

判定で2名(3名)以上の支持がえられない場合、引き分けとなり延長戦へ突入する。

延長戦は2回(敗者復活戦は1回)行い、最終延長戦時の引き分けは認めない。

但し、本戦に限り選手の技量、気迫、体格等を比較して差が認められない場合、

大会長・審判長等と審議し、再々延長戦を実施する場合もある。